



杉原寛信使徒座管理区長認可発行所 福岡司教区本部 福岡市中央区浄水通6-28 発行 人 カトリック福岡司教区 編集人 下町豊重 TEL 092-522-4059 FAX 092-523-2152 振替口座 01760-6-20729 カトリック福岡司教区 定価 一部70円

7月の意向
【世界共通】ゆるぎない正義
【日本の教会】難民・移住・移動者と共に
教皇様の意向のために祈りましょう

教区司祭黙想会 神のみ言葉によって生きる司祭

6月10日(月)から14日(金)まで、福岡黙想の家にて教区司祭の黙想会が行われた。聖堂でのロザリオの祈りから始まった黙想会には教区司祭25人とフランシスコ会司祭1人が集った。指導者はヨゼフ・アペイヤ司教(大阪教区補佐司教・クラレチアン宣教会)。アペイヤ司教は「司祭は神のみ言葉によって生きること」を強調した。



講師のアペイヤ司教

さわやかな風に乗ってアペイヤ司教の力強い声が静かな黙想の家に響いた。日本での宣教司牧生活も永く過ごしたアペイヤ司教のモットーは、「キリストの愛に駆り立てられて」というものであるが、その口調から溢れ出る宣教司牧体験談に、聴き手の司祭たちは一様に魅了された。アペイヤ司教は、「神のみ言葉を静かな祈りの中で反芻(はんすう)し、味わい、活動のエネルギーとする」と「キリストは昼間は忙しく働いたが、夜は一人静かに御父と話を交わした。そのように、まず、イエスと共に御父に祈ること。そして御父からのみ旨を探し求め、心を整えて、次のために準備をすること」、また、「具体的に一年間の人との出会いや事柄を神のみ言葉によって照らし、振り返り、いただいた恵みに感謝すること」など、司祭として神のみ言葉を中心に生きることの大切さを話した。

長崎教区に補佐司教誕生



中村倫明被選司教

教皇フランシスコは、2019年5月31日、長崎大司教区司祭のペトロ中村倫明(みちあき)師を、長崎大司教の補佐司教に任命すると発表した。中村被選司教は1962年3月21日長崎県西海市生まれ。1988年に司祭叙階され、ローマ留学、小神学校や大神学校での養成者を経て、現在、三浦町小教区主任を務めている。6月19日、長崎教区本部事務局より司教叙階式の日程が以下の通り発表された。

日時: 9月16日(月・祝) 13時から
場所: 長崎教区カテドラル浦上教会

九州北部豪雨から2年

2017年7月5日から6日に福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨から2年が経ちます。今もなお、悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活を送られている方のために祈ります。キリストが共にいてくださることを、私たちが証しできますように。

平和旬間 関連行事

8月6日~15日は日本カトリック平和旬間です。各地で平和について考え、祈る集いが予定されています。

- 北九州地区 8月4日(日) 13時~16時30分
小倉教会にて 交流・お話し・平和祈願
- 福岡地区 8月12日(月・祝) 13時~16時30分
大名町教会にて 講演・平和祈願ミサ
- 長崎教区 8月8日(木) 原爆殉難者慰霊祭
8月9日(金) 平和祈願祭
- 広島教区(各小教区に配布の案内を参照ください)
8月5日(月) 4人の司教によるパネルディスカッション/青年プログラム/平和行進/平和祈願ミサ等
8月6日(火) 宗教者平和の祈り/ミサ/スピリチュアルコンサート等

エキユメニズム部門 日本におけるカルト宗教 勉強会

教区宣教委委員・エキユメニズム部門は、6月2日(日)、大名町教会で昨年に続き「日本におけるカルト宗教―その実態と教会の課題」というテーマの勉強会を開催した。講師は昨年と同じく、枝光キリスト教会の岩崎一宏牧師。参加者はカトリックとキリスト教各教派から約60人。岩崎師はカルト全般について、手口や特徴、予防策、教会の課題をプロジェクトを使い、分かりやすく解説した。カルトについて知っておく、用心はしているが、いつの間にか引き込まれてしまう現実がある。具体例の中に、聞き覚えのある名前や言葉が頻りに出てきた。聞き慣れているため、逆に警戒感が鈍くなっている。カルトはすぐそばに、そして巧みに近づいてくる。そんなことを感じさせる勉強会だった。

岩崎師は最後に「特に若者たちがカルトに引き込まれる責任は、悩み苦しみにある彼らを受け入れることができているか、逆にかつての私たちが(キリスト者や仏教者)にもある。来年も勉強会を開催されるのであれば、カルトからの脱会者をお連れし、話を聞いてもらいたい」と語った。

熊本被災地支援 西原村で田植え



熊本地震から3年。教区災害被災者支援室では被災者支援の一環として、高齢者の多い、いわゆる限界集落と言われる熊本阿蘇郡西原村の支援を続けている。6月9日(日)、支援しているお米のふるさとを知るために、また、現地の方々との交流を目的として、西原村で田植えを行った。福岡、北九州、熊本から約90人が参加。約20人の子どもたち、20人のベトナムの青年たちが田植えを盛り上げた。西原村に元気な笑い声の響く一日となった。秋には稲刈りを予定している。

「カルトは人生を阻害して、邪魔して、利用して、お金を巻き上げる。表向きの手段と

して、イベントや音楽会、英会話教室などを使い、近づいた人々を取り込む。いつの間にか狭い部屋に閉じ込められて洗脳していく。関係者は常に新しい動きを学んで、研究する必要がある。」(報告IIエキユメニズム部 杉原寛信神父)

時の話題

ベトナム人共同体

今年7月の「日本の教会の祈りの意向」は「難民・移住・移動者と共に」となっており、「特に技能実習生の置かれた状況を理解し、実習環境をより良いものにしていく」ことができています。ベトナム人共同体は、区内の福岡・佐賀・熊本でも増えています。福岡市内の浄水通教会では月1回、ベトナム語のミサを行います。また第3日曜日には修道院で、み言葉の分かち合いを行っています。ミサには約150人が集い、クリスマスなどには約300人になります。彼らにとって、ミサは心の癒しの場となっています。また、ゆるしの秘跡を大切にしています。ミサや集いに参加した青年たちは、互いに声を掛け合い、また教会につながる仲間を探し、ミサや集いに招かれています。一方、日本に来て2~3年、一度も教会に通うことのできない青年もいます。ニュースでも報じられるようになりましたが、技能実習生や留学生の実態はひどいものが多いです。ベトナムの青年たちは、母国で良い情報だけを聞いて、夢をもって、家族と自分の将来をより良くしたいと思ひ、来日します。ひどく傷ついた青年たちに、具体的なサポートを行うことは勿論ですが、神の力による癒しと支え、霊的同伴がとて大切です。2月の終わりごろから毎日(時々)の休みはあります。夜9時半から20分ほど、フェイスブックのライブ中継を使って、霊的読書と青年たちの疑問に答える時間を設けています。一日の終わりに、共に感謝をささげ、祈る時間を青年たちの習慣にできればと思っています。「生活の中で神との交わりが良くなってきました」「ありがとう」という声が届いています。愛の十字架修道会 Sr.チャン・ティ・キョン・チャム

みちくさ

一人の老女が福祉施設で亡くなった。「未明に亡くなりました」との施設長のシスターの知らせをもらい、霊安室に入ったのが早朝のミサ後。体がまだ温かったので病者の塗油を授け、全免償を与えた。やすらかな寝顔の彼女の魂は清くされ、マリア様とイエス様に連れられて御父の御前に立ち、102年間の営みを話したことだろう。彼女は50代で洗礼を受け、ひたすらにイエス様の愛の教えに生きてきたのだ。彼女の枕元にたたずんでいた職員は「彼女は少し認知症が入っていましたが、祈りはよくできていました」と教えてくれた。それほど彼女の信仰は強かったのである。習慣として残されたものは、どんな状況でも表されることを知った。彼女の都合、習慣となっていた祈りによって、神様とのつながりが保たれていたのだ。時期が来て、神様はその人の生き方を顧み、手足である司祭を通して魂を清め、ご自分の懐に招かれたのである。▼祈りは「よいのり」と言った人がいた。神様と人とをつなぐ「よいのり」なのだ。普段は主の祈りやアヴェ・マリアの祈りや栄唱という基本的な祈りで神様とつながろうとする。また、ロザリオの月や聖母月に限らず、ロザリオを練ってはマリア様の取り次ぎを願ったりする。このような習慣を続けていき、やがて自分の「時」が来た時、神様が準備してくださる喜びの所で安住できるのだ。自分の救いのために、他の人の救いのために祈ることを常としたい。ありがたいために、今は隠れなくても、堂々と、声に形にして祈れる。(隠れキリシタンの末裔S)

福岡教区 本部会計 2018年度会計報告

Table with columns: 科目, H30年度決算, 教区本部会計とは、小教区から送金された金銭をもとに、教区としての活動をまかなう会計です。

Table with columns: 科目, 金額, 聖香油ミサ、教区の日、叙階式、司祭葬儀

Table with columns: 科目, 金額, 司祭給与、本部職員、司祭の家、小教区など、司祭

2018年度 会計報告

文責：青木悟神父 (教区本部会計)

2018年度教区本部会計決算が司教顧問会・教区責任役員会で承認されましたのでご報告いたします。

①小教区分担金収入は、昨年度より100万円ほど増加しています。少子高齢化の中で維持費なども厳しくなっている中、教区活動への協力の意識を新たにしていたという思い、ご協力に感謝いたします。

②神学校援助のための献金収入は、2千586万円ほどで、昨年度より150万円ほど増加しています。神学

③臨時指定献金は災害支援のための特別献金です。「福岡教区被災者支援募金」が始まり、緊急の災害に備える体

④カテドラル献金は毎年、福岡教区司教座教会堂記念日にあわせて行っています。

最後に、神父様方、また、会計事務を担当されている方々の物心両面のご協力に、感謝申し上げます。

信じる喜びから伝える喜びへ

あわれみ深い人々は、幸い

「喜びに喜べ」(80)(82)

私たちはミサの初めに、自分の至らなさに思いをはせ、「主よ、あわれんでください」と、主のあわれみとゆるしを

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)



使徒的勧告『喜びに喜べ』

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82) 「喜びに喜べ」(80)(82)

「教区の日」報告書より③ 北九州地区

新田原教会 司祭と信徒が力を合わせ

「教区の日2018」のミサの中で奉納された「小教区信仰活動報告書」。

「教区の日」には上記の資料も添えて奉納された。

また、以下のことが別刷りで共に捧げられた。

新田原教会では、2018年7月1日(日)に4時間をかけて小教区委員研修会を

行った。墓地管理規則について(墓地管理規則のポイン

ト、小教区外開放に関する規則、納骨堂建立の意見・要望への対応について)話し合っ

区の母なる教会として、大名町小教区の信徒だけではなく、教区全体で支えていくことが求められます。

【講演会のお知らせ】 講師：来住英俊神父(御受難修道会) 場所：ザビエル聖堂 時間：14時～16時

ミサ用ワイン VINO DE MISA スイートタイプ(赤)(白) ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店

草苑 カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。 木下株式会社 TEL 092-526-5656

テゼの祈り 愛の福音を宣べ、歌い、黙想する



テゼ共同体のブラザー・ギヨーム

5月17日(金)、日本福音ルーテル箱崎教会にてテゼ共同体のブラザー・ギヨームを迎えての黙想と祈りの集いがもたれた。

フランスの小村テゼに始まった共同体的「黙想的」な祈り方は、特に騒然とした私たち現代社会に、主と向き合い、自分自身と向き合う場となっている。テゼの祈りの集いは、キリスト教の教派を超えて、すべての人に開かれている。ロウソクの温かい光で照らされて、シンプルに神による愛の福音を宣べ、歌い、黙想する集いだ。

今回、バングラデシュのテゼ共同体に所属するブラザー・ギヨームが初めて来日し、福岡でも祈りの集いがもたれた。ブラザー・ギヨームはオランダ出身で、1975年以来44年間、バングラデシュで、もっとも底辺に暮らす人々を支え続けている。17日の集いでは、ブラザーが沢山の物語を分かち合った。参加者の一人は「スラムやホームレスの子どもたち、病人、障がい者、少数民族、囚人など…現地の貧しい人々と共に歩むブラザーと、ブラザーを支えているイエスとの間の『友情』に圧倒されました」と語る。集いは黙想とテゼの歌で結ばれた。

【福岡市内で行われているテゼの祈り】

- 7月3日 19:00 日本福音ルーテル箱崎教会 (毎月第1水曜日)
12日 19:30 カトリック笹丘教会 (毎月第2金曜日)
18日 19:30 日本聖公会福岡聖パウロ教会 (毎月第3木曜日)
26日 19:45 カトリック大名町教会 (毎月最終金曜日)

宗像市のザビエル聖堂(御受難修道会)では、月に一回、来住英俊神父(同会)による講演会を開く計画が始まった。6月8日(土)に第一回「殉教の霊性について」のテーマで開催された。今年188殉教者の一人、ディエゴ・加賀山準人(2008年に列福)の殉教400年祭で、10月6日には小倉教会で記念



ザビエル聖堂で講演する来住神父

宗像市のザビエル聖堂で月例講演会がスタート 第一回は「殉教の霊性を考える」

ミサがある。来住神父によると、殉教者という存在の独自性は必ずしも理解されていない。そこで、加賀山準人その人の事績ではなく、カトリックの伝統において、殉教者がなぜ特別に重んじられてきたのかを語ることとしたという。だいたいは、死を怖れない勇気、そしてイエス・キリストに対する信義という徳が強調される。この意味では、殉教者はすべてのキリスト者のモデルである。しかし、信仰告白のゆえに殺されたキリスト者のすべてが「殉教者」なのではない。「つ

いにキリストのように死ぬことができる機会を得た」という喜びこそが、殉教者の霊性の真髄である。この意味では、殉教者はすべてのキリスト者のモデルとはいえない。生においてだけではなく、死においてもキリストと一致できることの喜びは誰にでも与えられるものではない。殉教という特別の恵みを受けた人々が、神の救済の業におけるキリストの死の決定的な意義を自分の体で示したのである。この日の参加者は12人だった。主催者は、参加者が少しずつ増えることを期待している。今後、7月6日「宣教をスタートアップする」、8月10日「死の生に対する意義」というテーマで開かれる。

今秋、来日が予定されている教皇フランシスコ。彼は優しさで人々を魅了し、同時に刺激的で大胆な発言で、教会の変革を呼びかける。また、資本主義経済で物質的な幸せを最優先する現代社会の価値観にも警鐘を鳴らして訴え呼びかける。その新鮮さと魅力を描く。 サンパウロ発行 税込価格1512円



☆教皇フランシスコ 教会の変革と現代世界への挑戦 森一弘 著

5月26日(日)、佐賀教会聖堂において佐賀地区信徒研修会(会長 下町豊重神父)主催で開催された。今回は2年ぶりに長崎教区司祭・古巣馨師を講師に招き、「信仰の喜びを伝えよう」と題して講演をしていただいた。古巣師は、教皇ベネディクト16世による自発教令『信仰の門』から引用して、節目の



講話を担当した古巣師(右)と聴衆ら佐賀教会聖堂

「信仰の喜びを伝える」ことになるのではないかと気づかされ、「感動した」と感想を述べる人が多くいた。講演の最後には地区宣教司牧評議会の川添良子副会長が、「古巣神父様は、全身全霊をかけて信仰に生きたベト口岐部のことなどとても大事なことを分かりやすくお話し

6月2日(日)、大江教会において福者アダム荒川殉教記念ミサが捧げられた。当日は小雨降る天候であったが天草三教会及び長崎の島原教会より司祭・修道者・信徒ら約70人が参加した。ミサは山田聡神父(島原教会主任司祭)と渡辺隆義神父(天草三教会主任司祭)による共同司式で捧げられた。説教で、渡辺神父は、「昨年6月に天草の崎津集落が世界遺産に登録され天草を訪れる客は確実に増えました。しかし、天草の教会のミサに与る信者はとも少なくなくなっている



大江教会での記念ミサ

と認めます。この現状をアダム荒川はどんな思いで見つめているでしょうか。アダム荒川によつて時かれた信仰の種はどれくらい成長しているだろうか」と問いかけた。さらに「神様は人間として様々な弱さを抱えていたアダム荒川そのものを愛されたのです。神様の恵みにより必ず歩むべき道を示されます。この事を再度認識し、キリストの証人となりましょう」と語った。また、山田神父は「天草と島原は海を隔てて同じ信仰で深く繋がっています。また10月に島原で会いましょう」と呼びかけた。最後に主催した天草三教会を代表して大江教会の崎本和委員が謝辞を述べ、ミサを終えた。

今年の「召命を共に祈る会」の黙想会は6月5日(水)から6日(木)にかけて福岡黙想の家で行われた。テーマは「神の御手の中の小さな鉛筆く聖人の生涯から現代の召命を考へる」。各地区からの参加者13人を同伴司祭のイ・ハヌン神父(浄水通・茶山教会協働司祭)が指導した。初めに、映画「マザー・テレサ」を鑑賞し、マザー・テレサの生き方を通して、神の召しだしを黙想した。神は、特別な人のみ召しだししている(報告 大江教会 川口明)



黙想会の指導者と参加者たち

「召命を共に祈る会」合同黙想会 聖人の生涯から現代の召命を考へる

19世紀末の閉塞した教会において、世界宣教と教会の再生に心血を注いだ教皇レオ13世が黙想ののりに記した思索のことばをまとめた一冊。日本語訳初版発行1953年のロングセラーが、読みやすい大きめ文字になって新登場。 ドン・ボスコ社発行 税込価格324円



☆けんそんのしおり(新装改訂版) 教皇レオ13世 著



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時30分~PM5時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

信じる喜びから 伝える喜びへ

「福岡教区ハンドブック2019」が発行されました。

各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。

◆記載内容の修正があります。

108ページ 宣教委員会エキュメニズム部 責任者が杉原神父から井手神父に交代になりました。

福岡教区和田墓地 一般清掃日と8月の開放日

◆一般清掃日 7月28日(日)9時から 清掃後 ミサ 11時30分から

◆8月の納骨堂開放日

8月13日(火) 10時～15時

8月14日(水) 10時～15時

8月15日(木) 10時～14時

追悼ミサ/納骨式 14時から

納骨堂管理委員会 ☎080・2771・6544

教区信徒養成部主催 聖書講座

テーマ:ヨハネ福音書を読む

日時:7月28日(日)14時～16時(隔月第4日曜日)

場所:カトリック大名町教会 4階会議室

講師:森山信三神父(福岡コレジオ院長)

参加費:1000円 ※旧新約聖書を持参のこと

問合せ:☎080・5246・1816 島山

いま、一番わかりやすい憲法のお話し

『檻の中のライオン』、『おりとライオン』(絵本)の著者、椋大樹弁護士の講演会が福岡と大牟田で開催されます。

カトリック大名町教会(福岡市中央区大名2-7-7)

日時:7月14日(日)14時～16時30分

参加費:無料

主催:社会福音ネットワーク福岡

問合せ:☎090・8838・3778 森山

カトリック大牟田教会(大牟田市有明町2-2-12)

<定員60名、先着順>

日時:7月15日(月・祝)10時から

参加費:5000円+資料代2000円(高校生以下は資料代のみ)

主催:ピース9の会おおむた

問合せ:☎090・8221・5293 福永

多文化共生を考える講演会

外国籍の人が急増する日本社会。移民社会と多文化共生について、「移住者と連帯するネットワーク」代表理事の鳥井一平さんの講演が、熊本・福岡・北九州で開催されます。

熊本 7月13日(土)13時30分～16時

会場:熊本学園大学14号館1411教室

問合せ:groupkumustaka@yahoo.co.jp

コムスタカ-外国人と共に生きる会

福岡 7月14日(日)14時～16時30分 要申込み

会場:カトリック大名町教会 4階会議室

問合せ:netkyushu@gmail.com ☎092・834・5685(竹内)

移住労働者と共に生きるネットワーク九州

北九州 7月15日(月・祝)14時～16時

会場:カトリック小倉教会

問合せ:☎093・562・5712

多文化共生関門ネットワーク

キリストの教え・聖書を中心に学ぶ会

21世紀の世界を生きるキリスト者としての学び。

日時:7月2日、9日(火)14時～16時

(8月はお休み、9月以降も開催)

場所:カトリック大名町教会 信徒会館

講師:大山悟神父(福岡カトリック神学院)

問合せ:☎092・871・4943 大山神父

中高生対象のキャンプ FYCC16 参加者募集中

詳細は各教会に配布している案内をご確認ください。

申込切 7月7日(日)

問合せ:イ・ハヌン神父(茶山教会)

☎092・821・7024

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

7月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7・8月

7月 6日(土) ロザリオの会
21日(日)～24日(水) 産業医科大研修会
8月 1日(木)～2日(金) 福岡教区カトリック学校基本研修会
7日(水)～16日(金) 長崎純心聖母会
12日(月)～18日(日) 個人黙想会
18日(日)～24日(土) サレジオ会

※お電話またはメールでお問合せください。

*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385

Email:f-mokuso@fmokuso.com

7月6日(土)、8月10日(土)に來住神父の講演会を開催。詳細は本紙2面下広告をご覧ください。

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ:「祈り」神秘体験～キリストによって神との出会い

日時:7月11日(木)10時～15時

内容:「わたしは道であり、真理であり、命である」(ヨハネ14:6)

指導者:フランコ・ソットコルノラ神父(聖ザベリオ宣教)

問合わせ先:真命山諸宗教対話・靈性交流センター

次回:9月12日(木)「わたしはまことのぶどうの木である」

☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町疇浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時:7月6日(土)・20日(土)10時～11時45分

8月3日(土)・10日(土)10時～11時45分

場所:カトリック大名町教会小聖堂

福岡 ◆聖ドミニコ信徒会集會
(日時)7月6・20日(土)15時～17時(場所)箱崎教会(内容)福音の分かち合い(指導)アントニオ李神父(ドミニコ会)(問合せ先)☎092・651・3867箱崎教会

福岡 ◆グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時)7月16日(火)11時から(場所)聖クララ寮(内容)グレゴリオ聖歌ミサとベネディクション(問合せ先)☎096・380・5686堺

北九州 ◆北九州召命を共に祈る会
(日時)7月11日(木)14時から(場所)小倉教会(内容)ミサと茶話会(問合せ先)☎0949・24・9905藤井

熊本 ◆熊本の熊本
(日時)7月26日(金)13時半～15時(場所)小倉教会信徒会館2階(内容)「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(問合せ先)☎090・3985・5209松田

大濠会館の改修工事について
7月22日(月)～8月31日(土)まで大濠会館のブロック塀の改修工事を行います。会館使用の際は工事のためご注意ください。

メモリードール
薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
☎0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
☎830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

聖地イスラエル 12日間の旅
旅行期間:2019年8月20日(火)～31日(土)
同行司祭:森山信三神父(福岡コレジオ)
旅行代金:15名以上の場合 408,000円
20名以上の場合 385,000円
申込先:(有)アマタイトラベル(担当:水村、清水)
TEL03-3535-6850 / fax03-3535-6855
Eメール creative@rio.odn.ne.jp
あるいは 福岡コレジオ(担当:森山)
TEL092-534-4600 / fax092-534-4601
Eメール sulphices@plum.ocn.ne.jp
申込締切:7月10日(水)

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930